



# モバイル市場の最近の動向

---

令和2年6月25日  
事務局

# 携帯電話事業者の料金プランの動向

# 大手サブブランドの料金プラン見直し

- MNO系列のUQモバイルは本年6月から、ワイモバイルは本年7月から、楽天モバイルの本格参入を受け、月間通信容量の増加、容量を超過した後の通信速度の引上げ（128kbps/300kbps→1Mbps）を相次いで実施。
- また、KDDIはUQモバイルからMVNO事業の事業譲渡を受け（10月1日予定）、本体のサブブランドとして展開し、多様化する顧客ニーズへの対応、営業拠点の統合等による体制の強化を図る予定。

	UQモバイル スマホプランR (6月1日改正)	ワイモバイル スマホベーシックプランM (7月1日改正予定)	楽天モバイル (4月8日本格ローンチ)
月間通信容量	9GB→ <b>10GB</b>	9GB→ <b>10GB</b>	自社エリア 無制限 ローミングエリア 5GB
容量超過後の 通信速度	300kbps→ <b>1Mbps</b>	128kbps→ <b>1Mbps</b>	1Mbps (ローミングエリア)
月額利用料 (税抜)	2,980円 (国内音声通話1回10分無料の オプションは700円)	3,680円 (10分以内の国内音声通話が 無料)	2,980円 (アプリ利用時には国内音声通話が 無料)

# 各社の料金プラン(4G)

(月額、税抜。2020年7月1日現在(6月24日時点の公表情報。))

		NTTドコモ		KDDI		UQコミュニケーションズ		ソフトバンク		楽天モバイル (MNO)	
		ギガライト	ギガホ	ピタットプラン 4G LTE	データMAX 4G LTE※1	データ高速プラン	スマホプランS、R	ミニフィットプラン	メリハリプラン※2	スマホベーシックプラン S、M、R	Rakuten UN-LIMIT
音声通信 オプション※3	かけ放題オプション		1,700円	通話定額2 (国内通話かけ放題)	1,800円	-	かけ放題 (24時間 いつでも) 1,700円	定額オプション+ (国内通話かけ放題)	1,800円	スーパー だれとでも 定額 1,000円	(Rakuten Link 利用時の国内通話 かけ放題) 0円
	5分通話無料 オプション		700円	通話定額ライト2 (1回5分以内の 国内通話かけ放題)	800円	-	かけ放題 (10分/回) 700円 通話バック (60分/月) 500円	準定額オプション+ (1回5分以内の 国内通話かけ放題)	800円	(1回10 分以内の国内 通話かけ 放題) 0円	
通話基本料+データ通信料※4	用途	段階制定額	定額	段階制定額	定額	定額	定額	段階制定額	定額	定額	定額
	~1GB	2,980円 (3,150円)		2,980円 (3,150円)		-	-	3,980円		-	
	~2GB	3,980円 (4,150円)		4,480円 (4,650円)		-	-	5,980円		-	
	~3GB					980円	1,980円			2,680円	
	~4GB	4,980円 (5,150円)						7,480円			
	~5GB										
	~7GB	5,980円 (6,150円)	-	5,980円 (6,150円)							
	~10GB						2,980円			3,680円※7	
	~14GB									4,680円	
	~20GB										
	~25GB										
	~30GB		6,980円 (7,150円)								
	~50GB		-							7,480円※6	
無制限		-			7,480円※5 (7,650円)						2,980円※8
追加	1,000円/1GB		550円/0.5GB、1,000円/1GB		200円/100MB、500円/500MB		550円/0.5GB、1,000円/1GB		500円/0.5GB		(500円/1GB) ※9
合計	定期契約有※10	2,980円 ~7,680円	6,980円 ~8,680円	2,980円 ~7,780円	7,480円 ~9,280円	-	-	-	-	-	-
	定期契約無	3,150円 ~7,850円	7,150円 ~8,850円	3,150円 ~7,950円	7,650円 ~9,450円	980円	1,980円 ~4,680円	3,980円 ~9,280円	7,480円 ~9,280円	2,680円 ~5,680円	2,980円
上限超過時の 通信速度 (最大)※11	128kbps	1Mbps	128kbps	-	200kbps	スマホプランS: 300kbps スマホプランR: 1Mbps	128kbps	128kbps	スマホベーシックプランS: 128kbps スマホベーシックプランM、R: 1Mbps※8	1Mbps (ローミングエリア)	

※1 大量のデータ通信又は長時間接続を伴うサービスを利用した場合、速度制限を行う可能性あり。Netflixベーシックプラン及びTELASA(別途利用申込み要)が付帯したデータMAX 4G LTE Netflixバック(8,480円/月)も提供。※2 対象のSNSサービス等はデータ容量の消費なく利用可能。※3 5分通話無料オプション、通話定額ライト2及び準定額オプションは、1回の通話が5分を超えた場合、通話従量料金(20円/30秒)が発生。楽天モバイルは、Rakuten Link非利用時は従量料金(20円/30秒)。※4 括弧内は定期契約ではない場合の料金(ソフトバンクは定期契約を廃止)。※5 月間のデータ使用量が2GB以下の場合には、-1,480円/月。※6 月間のデータ使用量が2GB以下の場合には、-1,500円/月。※7 2020年7月1日から、Y!mobileのスマホベーシックプランMの容量が9GBから10GBに、スマホベーシックプランM、Rの容量超過時の通信速度が128kbpsから1Mbpsに変更。※8 楽天回線エリア内に限る。パートナー回線エリアは5GBまで。※9 パートナー回線エリアの場合の料金。※10 契約期間中に途中解約を行った場合、契約解除料1,000円がかかる。※11 速度制限の解除にはデータ量の追加購入が必要。

注 記載の金額は各種割引を考慮していない。各社とも家族割(家族で加入した場合に家族内通話に係る通話料を割引(一部事業者では月額料金から一定額を割引))、学割(学生が加入した場合に学生本人やその家族の月額料金から一定額を割引)、その他期間限定キャンペーンなどの割引あり。

# **新型コロナウイルス感染症の影響拡大に 対応するための取組**

# 電話料金等の支払猶予に関する事業者の取組

(2020年6月19日時点)

6

- 総務省から電気通信事業者関係4団体(テレコムサービス協会、電気通信事業者協会、日本ケーブルテレビ連盟、日本インターネットプロバイダー協会)に対し、**3月19日付けで電話料金等の支払猶予に係る要請を実施。**
- **6月19日時点で電話料金等に係る支払猶予措置を実施している電気通信事業者は124社**  
(携帯電話事業者10社、固定電話・インターネットサービス事業者112社(うち、CATV事業者86社)、その他2社。なお、複数事業を行っている社については、主な事業と考えられる方に分類)。
- **全体の8割弱の社が、経済的理由に限定せず新型コロナウイルス感染症の影響で支払困難な者の全てを対象。**
- **7月末まで最大5ヶ月支払期限を延長している社が17社、6月末まで最大4ヶ月延長している社が27社、6月末まで最大3ヶ月延長している社が19社となっており、多くを占めている状況。**
- **契約者数の多いMNO3社(ドコモ、KDDI(沖縄セルラー電話含む)、ソフトバンク(ウィルコム沖縄含む))及びNTT東日本・西日本では、総務省の要請(3/19)後、同日に措置を発表し、3/23から受付を開始。新型コロナウイルス感染症の影響により支払困難である者からの申告に基づき、当初5月末まで支払期限を延長。その後、6月末に再延長する旨発表。さらに6/19までにこれらの社すべてが7月末に期限を延長する旨を発表(再度の緊急事態宣言等がない場合は、更なる延長は実施しない予定である旨も併せて発表。)**
- **措置適用者数は全体で約34.3万件、そのうちMNO3社の適用者数が9割を占めている状況。**

事業者名	措置適用対象者	措置適用条件	措置内容
NTTドコモ	新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、支払を期限までに行うことが困難な利用者 (経済的事情、外出が難しい場合等を広く対象。個人・法人いずれも対象)	利用者の申告により、対象者に該当すると確認できた場合 (口頭で状況を確認)	携帯電話料金や端末割賦代金、光アクセスサービスの料金等であって、 <b>支払期限が2020年2月末日以降となっている料金について、同年7月末まで支払期限を延長</b> ※6月末の期限を6/17に再延長
KDDI			携帯電話やインターネット回線、電気、ガスなどの支払期限が <b>2020年2月25日以降となっている料金について、同年7月末日まで支払期限を延長</b> ※6月末の期限を6/18に再延長
ソフトバンク (ワイモバイルを含む。)			支払期限が2020年2月末日以降となっている料金について、 <b>同年7月末まで支払期限を延長</b> ※6月末としていた期限を6/19に再延長
NTT東日本 ・西日本			電話料金や光アクセスサービスの料金、専用線サービス等の料金等であって、 <b>支払期限が2020年2月末日以降となっている料金について、同年7月末まで支払期限を延長</b> ※6月末の期限を6/17に再延長

○ 総務省から電気通信事業者関係4団体(テレコムサービス協会、電気通信事業者協会、日本ケーブルテレビ連盟、日本インターネットプロバイダー協会)に対し、4月3日付けで学生等の通信環境の確保について要請を実施。

○ 学生等の学習に係る通信環境の確保に関する措置を実施している電気通信事業者は、28社<sup>※1</sup>。

※1 NTTドコモ、KDDI、沖縄セルラー電話、ソフトバンク、ウィルコム沖縄、UQコミュニケーションズ、オプテージ、J:COMグループ11社(ジェイコム札幌、ジェイコム埼玉・東日本、土浦ケーブルテレビ、ジェイコム千葉、ジェイコム東京、ジェイコム湘南・神奈川、ジェイコムウエスト、ケーブルネット下関、ジェイコム九州、大分ケーブルテレコム、横浜ケーブルビジョン)、ソニーネットワークコミュニケーションズ、NTTコミュニケーションズ、ビッグロブ、インターネットイニシアティブ、Y.U-mobile、LINEモバイル、ニフティ、STNet、TOKAIコミュニケーションズ及びQTnetが措置を実施。

○ 大半の社が学生に限定せず25才以下の全ての利用者を対象。

○ 契約者数の多いMNO3社では、総務省の要請(4月3日)後、同日に措置を発表。

○ MNO3社ともに、月間のデータ容量を超過した場合に追加利用料金の支払を50GBを上限に無償化。当該措置について、**MNO3社ともに7月末まで<sup>※2</sup><sup>※3</sup><sup>※4</sup>実施予定**。

※2 NTTドコモは、当初4月末とした措置の期限を過去2度延長(①6月末への延長(4/28発表)、②**7月末への延長(6/12発表)**)。

※3 ソフトバンクは、当初4月末とした措置の期限を過去3度延長(①5月末への延長(4/24発表)、②6月末への延長(5/11発表)、③**7月末への延長(6/16発表)**)。

※4 KDDIは、当初4月末とした措置の期限を過去3度延長(①5月末への延長(4/24発表)、②6月末への延長(5/14発表)、③**7月末への延長(6/18発表)**)。

事業者名	措置適用対象者	措置適用条件	措置内容
NTTドコモ	25才以下の利用者	対象者全員に適用	<ul style="list-style-type: none"> <li>月間のデータ容量を超過した場合に追加利用料金(1GBあたり1,000円)の支払を50GBを上限に無償化。</li> <li>テザリング上限なし。</li> </ul>
KDDI			<ul style="list-style-type: none"> <li>月間のデータ容量を超過した場合に追加利用料金(1GBあたり1,000円等)の支払を50GBを上限に無償化。</li> <li>テザリングオプション利用料を無償化。</li> </ul>
ソフトバンク (ワイモバイルを含む。)			<ul style="list-style-type: none"> <li>月間のデータ容量を超過した場合に追加利用料金(1GBあたり1,000円等)の支払を50GBを上限に無償化。</li> <li>テザリングオプション利用料を無償化(ワイモバイルは元々テザリングオプション利用料なし)。</li> </ul>

(注)楽天モバイルは、全利用者に対し、他社回線使用時のデータ容量超過後の最大速度を128kbpsから1Mbpsに、データ容量の上限を2GB/月から5GB/月に増量する旨を2020年4月8日に発表(データ容量超過後の速度増速は4月8日から実施、データ容量上限の増量は4月22日から実施)。